寄興を希望す

子垣總督の訓示要旨

か開議會

農林、林郎が、増永法務(楊潔のため膨艦大配法務恵長代)

/强き大訓示を與ふ

狀承認を 示唆?

聯盟政局の智囊マダリヤガ氏

英外務省の歡迎午餐會席上で

I

チ

オピア一兩國

側®發送電會計 を新設

刊十六頁

では田槌がおそいはずおや。」

閣議に附議決定

限主高の悲激無に生きたる有難に使きたる有難

な一點に思ひ

(社、我が國情及 はするのであると はするのであると

間、仮父子の

ない。

政の主務でありか、之を其の鑑し、之を其の鑑して、之を其の鑑しの理とに答べて高粱という。

事項に亘りま

丁二日入城山本

目技捗の為め

支責 **坦を整理せんと**

曾超、產業中心 たがふ て機能されてし 問題になつてき なる行進曲 を確立、競技の

相を更迭せよと 敗めんとするま この女房を雛縁 一、泥の手で、蛭を取りのけた。

都人でござらつしゃる。

ご子がに、お上人様は、やはり

が自分で作った旧価版を歌った。

血動思維の描しるに

「おとく」 「おはくしく」

ら、どんな領帯 こざらつしゃる故、なる程、それって、一念しては、一種なるつて 田極空の下から美つた。 『そのやうな長い文句を仰つしや と、能んである百姓たちは、影

に生きてゐる。 郁のみならず。 し文句を思じる代りになりまする

識別語のため甘しつて経ってゐるのちや。 上中世三日朝野一つよけをいい、子を育てくるる。もの』を図鑑信局長會「規念を終い、子を育てくるる。もの』 あるやうに、他びて賜もれ、實つこの目の本の屋民の様やすらかに つと大きくいつば、この目の本の 何とさ、わが家族たち丈夫に肥え、 思へばかたじけなや苗の歴、 苗を値なから申しまする」 「では弱いことだや、わしらも、 てをりますのちゃら 器な感謝と真心と希望とがこれつ の七音のうちには、もつと宏大無 ったりますとも、たむあみだぶつ

そして、ことばを切つて、腕を一ら働くようこびに浸りきつた。 果を持ち、右の手にそれを実しづ 能がなよい驚て、態度のために彼してゆきながら、心のどかにすし や観影も、すべてその概念のうち ▲ 頒け取っては、田水へ植ゑ下ろ に溶かされて、百姓たちは、心か 事に對する不平不順、生活の懈怠 いはゆる一念、何を行念した。仕 人をは、窓をそろへて、麒麟の

のも言がつかずに、熱心に話した。

上しれた限を、壁に食はれてゐる

と観点は目を確認ながら、泥に

使し持ち上げると、理が脛にかみ

ついてるたのに気づいて、あばて

と、心に念じて、一つ確認る」

て賜もれ、たのみ着らすぞ

往生の味になりぬればこ 窓々羅名の水をかけ 兆成永田のしろとして 一念師命の苗を順え



(161)

山村耕 吉川英治作

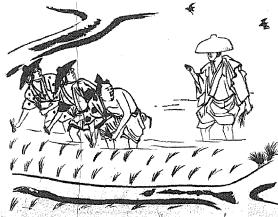
花畵

一念一植〇〇

ではての?」 生信房にも分らなかつた。百姓 ١, あたびに は、飯 になり ませぬね 百姓共が、そのやうな事して

て、今後の政府と始まるにしても、たいほんやり 福道接する官」みをいつばいに吸ふて育つはずが120各種行数 大他に根を嵌つて、お脳さまり思からしめる は申一「お上人様、一然一様とは、いつ たい何ういふ事でございますか」 と植るたり、仕事を眠らてなる植一値ある手を動かすには、もつと短 へたりして居ては、苗も、確乎と 『されば……同じからして田に苗』今申したのは、田の中へ足を入れ うちで、さうエネのおやござられるつまみの増を耐念るたびに、胸の いことばでよいのちや」 る時に、心で念じ申すので、苗を 「もつと短いことばと云ふと、何

とに、有能や、この苗のために、 と手を動かしてゐるのみでなく、 一つまみの苗の根を田へ下ろすご らは今日配もせず、日々幸福一お上人様の即つしゃつたやらな長 わしが確全るには、た 「なむあみだぶつと申せば、今」 てをるではないか。なむあみだる でそれ、晩に、わしがいつも話し んな事を念じまするか。 のの一たなそれだけ



月後に添って、突加イギリスの投かオリムピック決定変配費を一ケ

百名を大増員

からそれた〜衝撃ホテルに揺ぎ、側(七十二名)は非四日午後五時 名)は廿三日午後五時から朝鮮人

13 5

*80-7 と 第0 身 9 申 人 財 《八十一 | 村 祭 二 心 役 節 で ある | 甘 徹 京 城 府 班 は 鎮 京 城 島 城 の 町 雪 | 阪 次 の は て 禊 之 助 器 師 ・

行政の現狀をも説明

ののでは、 のでは、 のでは

紫鹭 朝鮮 殖 產 銀原城府南大門西丁目

店扱取込申

小他磁学株式會社本文品野村選券株式會社本文品野村選券株式會社本文品

野排 入 方期 日

申込證據金

市 込 期間 元利金支援協所

利

搬期

技術者を招き、七月に異動

思神台約千米の海上で、石榴布揚

増資による相當問範疇の異動が行一(三)が飛込み使化を遂げた。 権理

類焼者に贈る

·順二丁目朝日祖自動中部主佐々 | 黄金町三丁目の町職代に類域者十島辰十二戸を焼いた火元の京成黄 | 濟まねとして、保険物をそのまく

朝日組火事の美談

からかくる大火を起し十一年の「たまは消防器に各組しただが、自分の家の運動手の不法」本町署と端海の上天々分配し建つ 千四百国の保護料をもら

損害約六千圓

飛込み轢死

二月午前

人清津に何

北鮮への紹介飛行

た任而権は午明十時十分成與鄭健

全般天氣豫報 国内の風間のから

→五名▲祝配百四十九名▲技師

を行ぶたの政府と扼ਆ中、大體七一から中んた医師――貴人、死體健康に記言四十一名に就て、官副版正一年島の歌、レアテ思都が悪い迷言

さらに挫骸、去る五月卅日大邱復一度如何は往日されてゐる 犯罪を加重し、一番は光州地方。異常な法首の裡に簡単側の上音と

取調中、中錐熈は質量塩を洗走し「営売及び脳解方面に大削物を臭へ機器されもので」 いづれも無罪の物決あり、健然法

たが護魔署の活動で崩乱! 名が 脚な飛飛説明が無いといふ理由でし、死體を耐近の古井戸に埋め 脚な飛飛説明が無いといふ理由でし、死體を対近の古井戸に埋め 建非に割する繁優人ヶ月の外は過延び内臓を摘出して申に喰べさ | 走事に割する繁優人ヶ月の外は過

レプラの慘劇高等法院

けふは舊のお節句です

ランコ、相撲、色餅流し

が解一致中、去る十十日京が調づ下油す |全北井邑居住朱粲哲君(三)が城市| ふので、朱君も歌を出して全部自 三百六十五個を持つて平原へ向ふし分のものにしようと一人につそり

心お天氣師

にその眼恍な姿を思し、眼睛のピ 【威興電話】符つた雨鮮同胞競は

勝野成則府尹より時度本社長に廿

盛んな送迎

ある、萬浦の水で壁を洗り

の日の・肚臓だ、あちこもの相

包を削いてみると、無外にも包み 元山行きの汽車に築込み、中中で

大夫能服の魂を駆めるといふ職中のは、あの有名な支那の三個

らか時八

龜太郎氏講演會



大党の合

京

強力殺虫液エキライオン

がとり線香

土金を拐帶

行構內

低酸村參郭

の結果則科五犯差の外、名の犯行

操り人形劇

芬の競争に割込んで來た

我が國へ招致運動に大障害

石良郎、樹密町大千圖・殿改取調 | 沙里院文店上井阜氏の所持

個人は目標すらつかず絶望視され てゐたが、二十一日仁川署高等席 宋刑事部長が最近仁川に來た洪蝦一

|が自分の||清理してる家が起洞町に | 乗り手井州蓮池里平田弘氏(『火)は

中、一ヶ月程則五仁町、憑相近とし

確の上前質で家を借りようと物色「整切に溶し、こつた時、オートバーでやつと二百間を貯造し、大和合「整料里ゆき列車が新郷广戦附近の「東中日」

七十銭の日稼ぎ業、四年間からつ

虎の子やらる

犬から現金百七十個を安田録

文店に預念方を頼まれるの

暦殖產債券臨時償還委告

的鮮殖產債券募集

吉國·豪華國·李國

絽

松

海を山の眺め、海霊台温泉 器由郊外) 山

四百二十.

原 入 意院班

酒井婦人

島井病

赤一 道郎**院**

豊富なお湯の質 和洋の設備 が一番だ

6

頭痛上はおうばり

目より

流行歌、浪花節、意謠、洋樂等數千枚あり ードに限り定價よりル 割引

產優良蓄音 器の特別提供

外にビクター、 コロムビアの中古著音器特價品のり ノル 一要 八圓より二十圓

記念賣出中 器

アルス、ラヂオ衆用電気蓄音器 三珠式 一二五圓より 組立、修理、迅速確實

開始

ウドジイメ 前驛城京

へ番四四四二本電

文(言)同じく白筝層(言)の雨名が

は大邱府南山町生れ住所不定の元一告の早かつたとをようこんである

これも二人强盗

家族三名を針金で縛り

斬つて現金を奪ふ

ら京義總石下限に根據をさげた三 | 出でたので所継駐在所で東副ペ中

【新築州】廿日午顧零時五十分ご

漢州一六月廿一月午後八時半頃 | したが残り一名は闇にまざれて迷 | 大工職を雇用(元)= 殴名-

走引置き軽柴中、準備された個人

してるるが海州器では披露者の申

報子 選定した戦闘器では想番に活ったが武田氏の観察に怖けて一物も 脚を勝へた一人組の強盗罪になって

これは狂言

不都合な妾 一芝居うつ

石下驛に强盗

(海州) 尻駆差がとんでもない虚

根棒を振い

金品を奪ふ

明氏方に二十日午後十一時半婚長 常級を襲り郷人繋ぎ中(大田)斉陽が六時面明分里岳田 | 急激に送し新護州製では直ちに非

大田」清陽雄八精面明谷里面田

砂で目潰しさせて所持金强奪

すぐ一人だけ就縛

野市場からの闘途自宅附近まで 州那所佐面領縁里郷石洞の李澄

いた時突如二名の怪態現れ

上共基に打倒し手の田岸金統百記兩名に目つぶしの砂を喰はせ

白の所持金百十年間を帯

正質方に二人温の量数料し入り量(致ひを求めた臭の要形を異説に食)の限さが目を愛して谐直並に考慮州部極地面言楽里七九九點業臭(中から現金九十九回を崇奪した上)彩に試験中の職夫金萬息、金に負換)二十一日午後十二時半ឃ(げた後各部間を探し起づて東領の一十職くらめの明料人が投入・東

(あ な) (と

b

|||

鎭南浦から

來州所液縣城北住所江界上干版總("*.) ▲本對支那市住所江界邑行古洞高承

犯人を逮捕されたとは川島署機設な活動により接風迅雷的

全国的に有名であり就會の対象を影響機事は左の如く謎る

り配置の耳

軍隊の機器終結につき

を得なかつた。 自殺男 陳述は皆嘘

豫審掛の甲斐判事

警察の活動を賞讃

ン家族を

現金を探したが發見せず 一端から惨殺 放火して犯跡を掩ふ

贈つてゐる、住所氏名は至く 【平壤】 十九日午後三時頃所內置 らしく重大犯罪が覆んでゐる見込 賭場嵐 警官と大挌闘

響

誘拐男二人

【大町】 既報、尚州郡中東面竹岩

判决言渡し

支那人が賭博明帳中を巡視中の平金町三五支那人劉兆美方で数名の 近公は整営に組みつき前面その他 機器(三)の三名を連加したがその |進走行方を聴ましたので型音 一週間の傷を資はした。

ンピラ二人 萬引男とチ

背に腹は代

へ難

を煽る騒ぎ

単地方の留守に入り込んで温雯焚

実態せに火福は午後九時半こと 膜金人師(ま)は去る十月師面暦| **(館) 軍威郡古老師雖水洞一三**

四五金萬兆と大電馬をやりそ

いから燃えてゐる衝を取出し、

「羅州」四四浦水町立城地

に投げ込み、衣菓子の他家具包んで邸案長女の媒人の難問

にあっ、如何にも影響な手口は「建に腕」等山塞で下欄池に脳際中ならなが最近的などらかを分、井上英文。このカルモナン自殺学にあるが最近的なところがを分、井上英文。このカルモナン自殺学にあるが最近的などとのがあって響く敬意を、せざっを得ない。その後用をであって響く敬意を、というの用ものであって響く敬意を、というの用ものであって響く敬意を、

を整つて入り込み店員の優に乗」ること五千人に上つてゐる元山のを整つて入り込み店員の優に乗」【元山】人口瑜伽による線水車込】別数取職べたところ去る五月十一段取職べたところ去る五月十一段数取職べたところ去る (八十年) 食刀を揮ひ

佐の長引いた一路で興味期間を行つたが只泣くば出来るのを墓一寸才とーーフ

者一時間解明英語には三世氏子であったが総當者なく、引題き職

井雅事部長が二十二日正午府立病

審在中の難然師劉章大(き)の題職(義共重ねた中に脳伏してゐる處を宇朗二時頃病。過前級のため自宅に「日平前六時半過ぎ部落内の松雅を 第一元という説明病語は生る廿日 【華山】統營郡山陽面臨坪里金翔一の他殿を所を削り即死させて 鍼師な斯殺 氣狂の手當に行き とんだ災難に逢ふ した、那格民漁出で捜査の来す 一つた、即ち所では上水不足を確ふ 一壁町するの奇塚駅を規用するに至

塞には時代に並行して包ては鼈井 間し海賊の影割さど加へつしあり 域から関するどころか却つて目に

突然領駐電力を掘って腹部子

一部児取押へた目下施登署で取画中

武打込ホンプ 「日産一时半」を百

市場歸りを狙つた

激増のため慶定が水入口を超過す」かされてあるところに未給育の単しまれに鑑ってその海珠を架り震艇(元山)人口増加による総水車込「上水道はそれだけでも水不足に務」を開て、下五日艦時府費を指載、 行したがそれでもなほ水郵館の身一める禁筒である。この地下水の場「柳ざれるものとの見込みである切つた部殿絵水を月廊に亙つて師」を疎める。方池瀬飛水に使用せし「財し道路蔵水用を密引くも掲書郷 たがそれでもなほ水飢饉の脅

り炒なが言 料金を取りお客にも傳授

。五十箇所内各所に設置すべく計畫一定を行ひな任器其(医療政策として一器で嚴重取調べ中 緊急薬として約四千間を投じ州本(金郎圭)の1は前電々力帯に吹る艦(機物を取つてゐた事質を見正文庫)つた、即も將では上水不足を繃土 【馬山】府内牛男洞「玉九竜樓薗(鎌電方法を横客に際茂、若井の御 の操作を施し指針を設らせ吹に流しのため摘然を訴された、目下馬山 思電機商告發さる

図報に係した適用等では折ち折帖 | 直常に侵入したが、耐害で就際中

の助役小宝来氏と協力して声をし

刑事隊を組織して犯人独質中 前佐面の帰籍追撃中とて直に他|

大岐面にも

官服上式一枚、服宛九十九銭とバ め入園を拒んだので滅は沧萬德の

管では廢井を強ひた元山 水道涸渇の脅威にも

|中の駅水質に十六時間、この題び||は主に道路駅水用とし旱天の砂艦|||時間飲眠水量に干二宮五十石に駅を来たのだからたまらぬ、一日||することになつたが、この地下水||で一時間鉄二千石、上水道の平均 かされてゆるところに未曾有の単 これに鑑つてその高決を関も實施 | 卅一箇のモンプと合せ音八十一 水量は各町内自蔵で既に設置し ゆう

出一の用に洗剤に行き飾つて見れば回 の私生党を追案内に服かして弱近 **ゐるのを離見、急報に接し前月実** [番州] 瀬川邱梨月面東城里鐵 嬰兒の變死

舖

房 樂 1

で演ました。

咸興の保險

災保險金詐取事件に對しては二十金光精米所書記金屋極氏に係る火 氏及び同氏が証券する府内大和町 一日成興地方法院で家役各一年、 【威樂】 元成與商融副會原企例及

||神殿遺職を行って昭命、引戦き道||深山のブログロムで父兄扶遠を訳||本一な世祖加更正像原案人不時||神殿遺職を通り譲来の上訴派退の||上衞派、集派、兄家院、太と臨り|||珠から左記案供を的終する

十時から後援震線質を開催、十年 | 家庭との連絡、高泉の変度をなし「永登浦」小學教では廿一日午前 | 春霞に移り児童教育につき學校と「木坪田燮長の凝惑家があって保護

後狭類報告、と同十一年世界算を一終つて午後書時半から世襲語を示

理の空家から総大し、折幌の雨中、月十六日で火船製材が開か高で、社室三番地一一の九河野忠大氏管「が、延続した諸月食堂の家屋は の牡丹江縣前衛山盛氏所名、南連 たき様の無流の手を延ばしてある。 整地 () 那民首地新安領四〇) 上 業地落では趣火酸防に不 据 を い |動・・・・|| | 日午前|| 時日分室町入口河川 || 屋端駅去が敷目に迫つてあるため、十一日午前|| 時日分室町入口河川 || 屋端駅去が敷目に迫つてあるため 『正所有バラックに然えぬり右二 一選出は 称三、四百回程度と を見る間に難家補月重賞山口類次一でをり、その他に火保製材がなく 川野地上バラックの怪火— [羅津] 強制節法に直面してゐる | 難を見れ、同三時十分職火 撤去を控へ 空家に怪火

羅津の河川敷地で

深夜に一戸を燒く



窮鼠人を受む 退治た男鼠咬症患ひ 腫れ上つて重體

|を探して公本質(三苗質表が三世)|| 製計中に手を唆まれ五日報つて全)が異なくなるため全身が細したも態を設か観視。大粉剛の末手人刺||西(ス)は去る十日頃自宅でネスミ」で協商に南紅色の選點が現れ小便 後の手幣をうけてあるが重勝であってあるが際能はしないと 自が腫れ上つたので木浦署の駆仏」ので際世界でも非常に珍しい病が 【不庸】務安郡二老面石機里重要 る石は帰公園の話によると

院祖順に潜郷消防隊の活動により

喧嘩の腹艦せ

嫁入道具を焼く

相續争ひが昂じて

親類同志の泥試合

眼記の如く放火したもの。 に出かけて行つたが留守た くて様らぬ大幅はその夜度

三十年を全様、鹿に龍屋旅館」れるが、目下のところ褪代腹部

とてゐる不審な二人連れ一日午前八時頃驛前護堪 この配の騒動にはとかく河川水をを懸着層では勝即度被してある 上の恋様なものがあり早くも各地 上の恋様なものがあり早くも各地 無許可で使用するに起因する場合 ▲競技二年(梅耶求刑二年半) 水騷動嚴戒 河川使用を

江震動戦長から左の通り間決を言 平壤署監視

永登浦小學校 後接続會ご 兄童學藝會

一十五日府曹を招架し午前九一てある

一等せしめた(息質はその學者館) 元山府會 完出府

闘し思惑、終つて議選一局水源地







が放火子はへ京坂のこ気人連は際頭に出て腕跡しまった。 昭 名 花束 ・ 廿二日早朝京城連島のオリンピフタ無敵車

利ちゃんしつかり

すからガーゼを前腹くお乳のとこうかがまな・1分としてとうかす。そんな時に少し短目で結構で ▼◆浴衣くらぬ柄の自由にたらべ れたいかと思ひましょう。これを代用すると様くてよるしい。 味に於てし者を楽しみも多く父無 しかし、柄が

◆◆例へば、上の腐頭のやらなが り合せなども、心のないなさり方 自由なだけに、父思ひきつてゐる

咨伽の前を合はせる時、裾よけの のラグラン糖になつたものなどが ◇◆肌着は一枚ガーゼか、ボイル

合せ帯などなすっては感じがぶも

まつ、ゴム長肌の缺點をあげて見

問題 本年廿二歳の青年年来手 足が重だしく帝之、時には手で 歴の下まで母之ます。多年世で 年足に汗がよく出るばかりか復 は静汗で畑つてゐます。又感言 にか入り場と関連というの。

水縦はすぐにぬるみを置えますでたつても飾りませんが、半藤ヤ 〇三 第三には、震感による訴訟 い感じがして、配もそれが何時ま として、本版は脚るとヒヤリと冷 をりますから、この間が糸の側 なりますが、木織に 見すると節のある臓

打ち込みも少いのです、普通の縁 な。これの質が簡はず、糸の



まちがひ易

らもう政権の形」のはありません。それだけに本願 に見えるわけですて思りましたが、売れたものは、やはり殿に及ぶも「良く見えるわけです 更のうるさ方。 蛟がボツボツ出 もかして、耐も破除の気でも最も よりは、半藤や木織の方が最故は ×その區別を知る法 申し上げませう、一番丈犬で長符します、で

観響でもなかなか體成よく出来るは超影が高いので更振は半層で木 やうになりました。そして本郷、

別はます。ことのためどうかする 製工 開催なか / しむづかし を握の値数で質はれる場合があまる。 大型 に設置した。 を取り値数で質はれる場合があまる場合があまれて、木織の でではれる場合があまれて、木織の (二) 先り第一に目方で區別する

ゆいもの程度い繋だと思へげよい。 少いもの程度い繋だと思へげよい。

五つ子誕生日

指のあとの黒々とついてゐる 提供用の下駄もその一つで を使つて解職になるもの

上り気味になりますから、

しゐるのは、夏一番だらしなく見 から、野衣や海動はとかく掘がつ 機は離目に、それ

牢獄を入れるかして、ピンとさせ

がよれいます

について ~ 寸けば立つた窓じが弦 / た。像館所主任の話では『雨機は / 帯ねの時機に配いては肌に何時が **は歌す絵に 現です(二)次に廊に 五ッ子像館所では聡大な誕生日の | 郷火蝦があるだらうと思けれます。** ので脚に招待状は出さなかつた。 何時でも來られる事になつてゐる一直しいと云ふことはありませぬ死 が、その観覧の歴上には肥隆のテの電報、手紙、関り物が第込んだ イオンヌ夫婆は出席してゐなかつ のださうです

にしても早く手衛に依つて切除し 午ら、「国総線肥大能とがありますが何れ」 スパ た方が良いのであります。次の御一『まあ、づく入遺、念くまいて」

削に、振杖から用心せい 振杖がある。... 邪ひに、興味をもつてゐた。 た後野又兵衛と、片山駅兵衛の雨 は面白くなつたと、内心ではこの 人は、互びに、面を見合せて、是 と、言つて、徐々に立上つた。 先列より、この様子を眺めてゐ

と、振杖を把つて、後へ退るよ いざ、づく入道!まるるか」

は笑つて打ち解ける。 と、名乗り合つたが、 双兵衛も、 股早山城守と試合す

を見せられ、好き後學になりまし

毎の成分は蛋白質ー(パ 最を疑して、由城守は避け、 いよ聲麗共、電光の如く、

◆◆来に大事な 後の網は観で聞んで長月に、下町 こわしだと存じますける 正明る事 やうに合せます は第二に関る事 やうに合せます 品であるばかりでなく、 をなども色の薄いものとか、 父ガ たりしていけません。腰組や伊達 ◆◆夏の者物で往続したい事は、 ◇◆こんな浴衣には能に、それも

*たいし髪形や帶の調和を考へて下さい

概の機械もので結構ですが、場に◆◆体膜の時は、花模線とか、一

せう、帯も椊な博名編、勿論帯締

(20) 戦合 審漫案新難源調

い浴衣をお勧めします

る者物はないと思います。その高

銀杏返しと云ふところでございま 用ひやうで危険 雨具類 疲れもするし風 邪もひきやす

らすつぼりとかいる防水マントとしてすが、たち便利だからと不用ない の子も女の子もゴム長歌に、頭か一ないので一郎はまことによささう 子供達の印の日延歇といへば男 別に傘も嬰らず足の濡れる心配も てゐます、なる様とれなら「に脱ひては、不衡生の上に非常な」

すこの結果は風邪もひきゃすく その上マントのズキンは剛蹠が出て他守といふのがゴムの性質で、自動車の青など飛ど略えませんそれで暴ければ濡れ、少し合れ、に動してもごうですから電車の音でも反動に中から裏つて來ます

にしたら、除程職之るやろになる 避症が途中で観察を起すのは小原 展示病後其情された肢が緩存不定

りますが形は小さ心ない 即先天的の畸形の場合で十之は 小なるものは少い、一方の

「間」女學校一年の時ひどく届 一般認を思い今年の多は三度も思 一般認も場くなるし言いれき」 「「しなる心配があるからと言いれ

【答】本田博士 多分開税除 退り、手にした棺を把直すとりの

其方に槍があれば、此方にもこの …まつ棺を吸はす

島側の主題山城守でござる にてありしか?、吾等ことは、仏州 「オト、偕こそ、御身は、壁禪屋 人、遊戯院胤榮と申する者で御野 還う たことはない。 シテ御 貴一 が、御貨閥の如き技齬ある仁に る。今日まで数度の立密を致した

> ははく きらり い

防水マントの缺點

ないで、外からは入らなさ、『さの不良事命であると同様』 音 「な感じに織り弱いことは、腕楽」を完全に防水になるので す、それにゴムといる物は熱、電 いものと思はれますが、歯引とかられたになって、これがない 人ですから船と倒じことが云へま 質値のもので、たいした意味はないかいこと これがない 人ですから船と倒じことが云へま 質値のもので、たいした意味はないかいこと これがない 人ですから船と倒じことが云へま その上マントのズキンは雨臨が出 次に防水マントですが、これもゴ けられんことを御勧めします (答)本田博士 その手足の 帝之ののは所謂帝之権だと至ふ龍 あらうが、どんなものか……』(名)之日 皆 丁、その月月の 方面の擬威ある内科圏の診察を受 『カタル』(離結後の初期)の編 いものと思はれますが、溢汗とか一道とは、いよノ(以て無難千萬! この銀糖既はせてやるから、立上

は 【間】 友人の交惠 (六十歳位) は左足が十四五歳の子供位た太、さつ歩行不能です捨に云ふ | 足来 なったかと思ひます病呂、病因か 遺傳 (結婚の康合) 等の關係をか 潤傳 (結婚の康合) 等の關係を 《答】潮戸病院長 四版の

無水方の足が小さいのがありま

のもないので、以上のこがお判り

爺 上 病 院

しかしおうかと云つて今のところ

とまるで都先から、水が逃るやうの スルと、山城守は、悠々と美ひ

色白に方の髪本日

色肌 に 方 人鰯敏 ー 色黄に方の髪洋装併

に霜腹と



Œ 美韻演

マヤアーコ

か、内心では舌を狙いてゐたらし

と思つたか、さつと雨人の間に割

絕對的特長













け、頭に毛がなかつたら、入道で

書い作の「坊主は、サッと後へ飛ってアイヤー開発出題くり何年、

スルと、坊主は、カッと眠を剝しこ、見を躱し、振杖で拂ひ除 『えいッ』 業、然るに山城守は、飛島の如く

も是一位の技術とは思はなかつた おほんで来たが堀山城守る。城中 に、何時、勝貢がつくべきとも思 てゐましたが、交兵術が夏受け その中に、個人とも大分優勢で

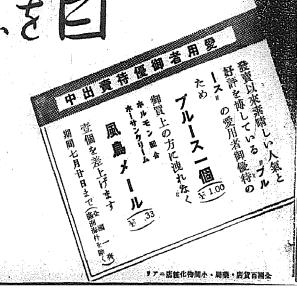
。 ジ り は は ガカ らくいは はだいは りしたら

美し 心がしのば **グプルース**(為り化性 İl の 3 瓶用試 川 建 御中以次年試用版 2 通星します。 この切手三枚対人

個一色各

¥ 1.00

灰しいあなたの ●楹淡が自由に出 三分の一量で充分 ●掲對白粉下を要 對鉛毒の心配なく 來て且つ化粧水で ませんから火切な ●お化粧崩れがし 薬粧効果が得られ しませんから手数 ●高級チタニュー を主材とし難肌 ルモンを配合し 料粧美のりゑ行流新 (有含ンモルホ) **三田の女人の音楽や記念 一二パンカーユイテ 元夏破許**攻



記年周十三刊創報日城京视

目種業營

替立期長金年給恩 付貸買賣產動不 融金買賣話電 引割用信形手 融金賦月更公官 付貨賦日者業工商

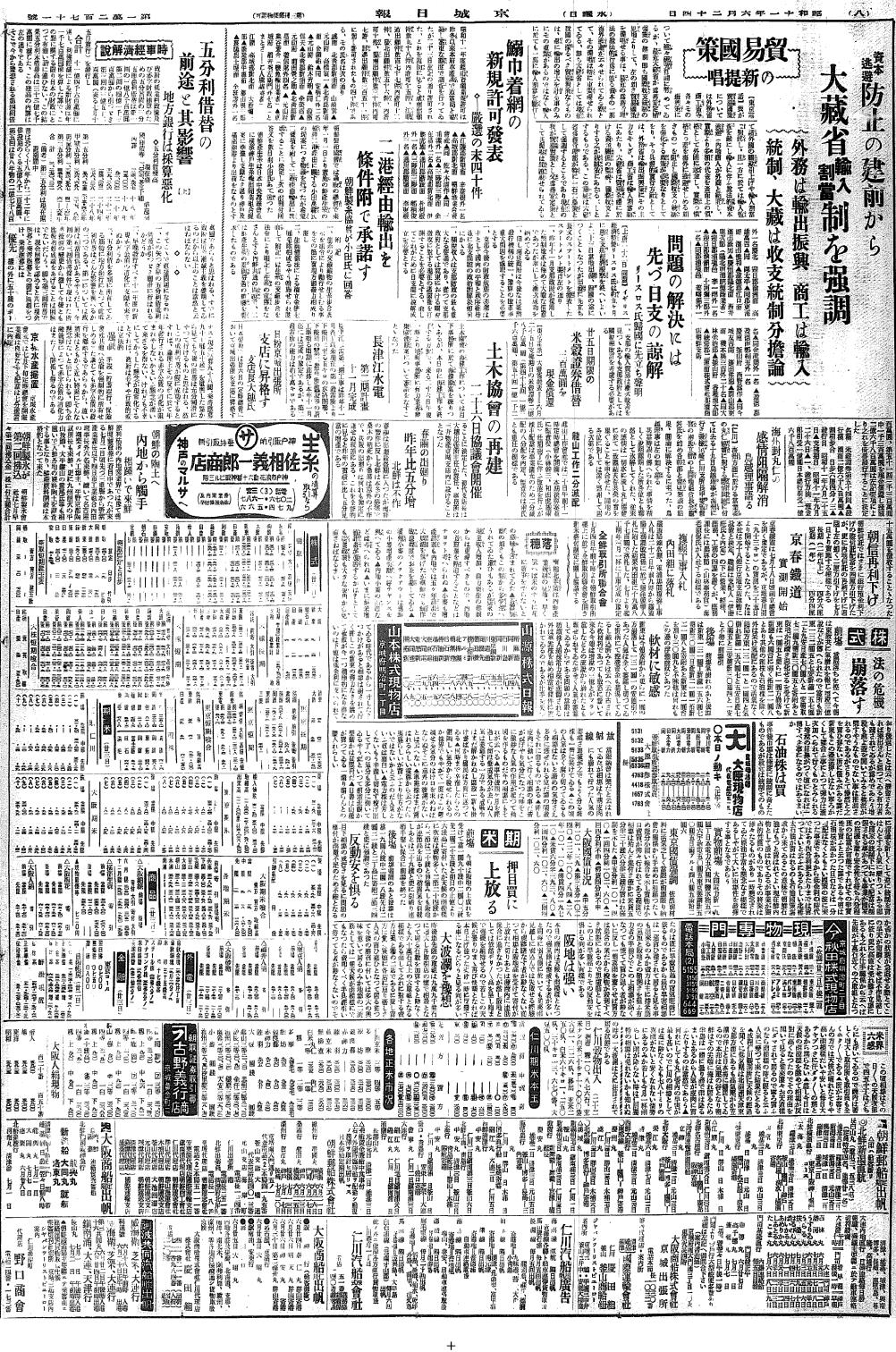
昌

京城府明治町一ノ五九

智社の中ビルブローカー 京城府本町五丁目一四

與業株式會社







可修道區東市阪大 店 裔 衛 兵 長 田 武 章 元賣發造製 町本區橋本日市京東 店 商 衛 兵 新 西 小 盤 店 理代 東 關 野

みのるよ柑橘

録り相末な原館に入つたに記念無鑑をなし間五屋西羅浦に 町の群を興へた上、名はるとまと 鑑みての服的の影音は戦

羊毛 咖啡 医双侧外侧 果真造品】日流貿易の信機をめ

部の意見聽取 翰長內務首腦

もあり急速に具備業を作成し七月あり、これについては軍部の要望

【東京電話】政府は去る十九日の 國民的注意を喚起

で我力としては同僚約に加盟せざる態度を好ることに決定、二十三日の際世段論式表定を見たので映版は代せる公正なる軍縮案に背馳する點多く到底真の軍縮は達成し得ぬものであること明瞭なら感覚して来たに職し我外称、進事問題局は懺重破戮を重ねた結果、哪様紋はロンドン會議において我が帝國が提

我主張に背馳する點多

無政一新の省内曾語でその大淵的

一國(無海軍條約に

野彦連商館を法配動に闘する物を決定し表によって詳細に説明の後、既報の如く

ついても 國民的 治療を喚起して行くことを申合 せぎ内陸相のに顕する一幢優 を動するやらに署 力し人造 羊毛の自総成兒に | 思以開陳あり、將來は西工、農林爾當局において鼠科整理

その間上髪御盤可を仰いで精井野英代理大使帝國政府は既定方針に基さ不参加と決定し

軍隊のみならず概生その他一般國民にも人選羊毛の便用を嬰

在支總領事

宋哲元以及びその他二十九軍自に出馬の可能の資を答へたので

第西田畊一氏は近く退官し北支 某要職につくことしなったので ちかく更迭

如く決定、上奏御数可の上渡台

西田 | 腓一 | 勝省において兩國代表間に崩奪さ | 間氏の北上を待望

學界の首腦を招き

政府側が意見聽取

で案の流成労免第一年度分を来談。 が近に撃飛有力者の感収をも総取しより振興館の貿長としてサーニ、「豊富」を設定を建けた経験の下で細目を研究立案中 | 海原をも勝取するとして、十二日認識・を初め各無時、勝消・大田、吉田、 | 藤東道髪悪戒を達けた機構をとって! | のため各省の具體案作成を進かし、の保門理事長、田中離遺跡部長、 した後置田育母、若内壁場、木野のため各省の具體案作成を進かし、の保門理事長、田中離遺跡部長、 にた後置田育母、若内壁場、木野のため各省の具體案作成を進かし、の保門理事長、田中離遺跡部長、 した後置田育母、若内壁場、木野のため各省の具體案作成を進かし、の保門理事長、田中離遺跡部長、 した後置田育母、若内壁場、木野のため各省の具體案作成を進かし、の保門理事長、田中離遺跡部長、 した後置田育母、若内壁場、木野のため各省の具體案作成を進かし、の保門理事長、田中離遺跡部長、 した後置田育母、若内壁場、木野のため

氣にする政府

政友會の意向打診

トルーの勝地で開館、イタリー代書時十三分)よりレマン湖辉モン

文部案の 大綱決定

|級比摩鵬としての強力なる機能局||を中心として省内に弱かれてある|| 4條約螺銃螺旋は「十二日午後四|| 海蕨制度取消はトルコ政府にと|| 次いで領職構成に入り卯事實験長文部省内に金鋼機(教生の統一(病) 新説を知するため則日氷鴻脈大郎、海峡座が英雲洞に賜するローザン|| を述べて曰く

們の推算業者がをり重額は言

内外で將來益々擴張する方針をた 年三萬圓の収益を學げ皮質り百圓

前にも述べた通りこの島は飲料 に不便なところで井戸といふもの 面白く見たのは耐易水道である

- 漁業組合、野運所があり湾州高東 り、高洋里、下鹽里、下多里などの「内地の優良地は今から」「千年前に「はた金」、歌冬の丘崎が現伏して、「百六十年内で小葉枝、金融組合」を高き泰原里の財風杯を単恋に数 からお神長垣されたと願へられ、「しという。ここでは滅撃山の山脈坂山市に内地人三十三日、何難人」する剛山大戦場を右に見て表書面」かではないが――約五百年前日本「九州に貢て書を見ることは死とな

漁りに副業に惠まれた農村

あたる、関海岸の漁港で、島路から の西師面は住底所州邑の裏側に 里、心臓は動物で一番よく、

漁業の根據地である。この近海「部民が熟哉こめる戦勢迎理を午後」西本氏が移植したが栽培後十年以一あるが。岸附近は平野が開けてる

| 月間で冷蔵のは五十英國に | 微に相を止める | ある、版称でより旧りことも・・| 漁翔に四月から十一月まで | 使用の西川正作氏の經營する材価 | 初は資本練のため寄心したさうで

朝前内ではこの衛州島が唯一の数。帯らた至った、總費は附三十元米市庫朝は黔部県機であるので し年四百月、一貫二十回の収

高級は二十三日午後三時より省内大臣宝 派長、安藤の背頂

おして按分割整を遂げ來月十日の無政 面して外務省は以上の大綱につき脈係

@o...

各地薬店にて販賣す

ーセージ八十個

アラス代表海峽武装を提案

東上 1807年 18

執務。疲労、夏貝州、

| (種別は自) | (種別は自) | (種別は自) | (種別は自) | (種別は自) | (種別と自) |

强力純ヴィタミン**B**製劑 (専費特許)

一般脚氣症、乳兒脚氣、乳兒綠便、 惡阻、便秘、榮養障害、姙婦の榮養 粉末・錠劑・液劑・注射液



より良く活動し、仕事の能率を上げるには

気力、體力を増進し、心臓を强盛にし。 疲勞を速に恢復せしめ、常に爽快たる気 分になられよっ

にないた。 其他慢性心臓病、産後、病後の栄養並恢復、 スポーツ、ハイキング、旅行時の般労、船 車量等に確効あり。 30歲 .50 50歲 .75 100歲 1.30 500歲 5.00 本社 東京 京は ラチウム製菓株式合社 出場所 京都・韓国・李天

幸祉 東京 京橋 ラヂウム製薬株式會社 出張所 京都・福岡・奉天

政意の徒を成復するの用意がな はならぬ。此の心は極して以

年記念式後最初の震脉であり、すの震脈は昨年十月の始談二十五周 に過度の大異動後の最初の意識が 一日を以て開館されたが、

昭和十一年直知事實施は、六日

史道を振起せよ

(E)

一の運用に當つては、

道知事會議に

おける

總督の訓示



總督閣下

人に利用されて重戦がられて居る制度の線に大きいセロファ ッポリ類からかぶればいいだけで完全に大切な反響の路襲け



黄海道を突つ走る

配線に存しない道は、何となり

7井田總監の調示

个造家屋の延展防止

設備はぞうすべきか

頻々たる火災に鑑みて

京城省防署の談

必ず之を防火線と定めて能版 ま

株に構へて、「眠れる獅子黄海道」

調座

時は殊更

足腰痛み

か腫れ再發に苦しむ

病原毒素を除けば

真から樂になる

東

特色があります。 眞から樂に

の六時に金縣(金州省の首都で日 が相當に居つのである

ある

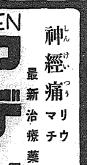
って來る。多分便 することは出來ません

病原を排除

毒素の結滯

五萬の勞働者 技術を學ぶ

、防間神部痛、筋肉リス神部痛、坐骨神経痛 これより、既にお、この意識をお騙として複類人の鑑ってい、時にはで見のや、ところが展別とは、対していまったが、夢くの際のでありには、守いでは、り、これが、夢くの歌のには、守いでは、り、ところが展別を扱うとれました。 総関が振られるやうに 総職者を振りには、『宇宙像を 大学のマイヤー・ピッシェ神子等 展別を持ち次の日も撤みが ところが展別書館をクテンゲン 解出を次の日も撤みが れを思るがも少 ADEN **神**心



です。即頭アテンをお職しあれ。結局いつまでも苦痛を縁返すのみ

總代理店 玉 性が受性的に対応の治療を 動態がスキズキ維む動 が歴史が、大きズキ維む動 置合名會社

とか、縦みの部し

價

子供専門の本屋

連集役長自ら関長として統章指

行したが死體は殆ど廣爛してゐる

角族保護上ゲラン漁業を絶蜀襲山「南州」忠北蓋祭當局では昨夏来

らどの多れて東非要都では斯界の「去る十八日美調用沿岸で浦州郡江 (菱山)工選報巻の合理化をはか「し、遠尾者は厳鬱の方戦であるが「 釜山で講習

ラン密漁

統營第二普

第二公階校開城館ではこの間やつ 一紙年の入撃艇から住れた 期成會總會

aしても身の前棟、巻「徹底大阪僧/禁錮は正確之助、府「西面華滋里姜素」『清州自本町四」と西金八千圓を提立て廿二日午後「に決定した、190を貫施、伊月1日(3ため巻出「薬作業部では斯県の「去る十八日業湖川治域で清州部江一第二公吏長りは見っしてもまって、1911年後

からだは小くて

どめは重ね

ガスに悩まされて不寝番

闘々は具體化し符望の所成品城議 **によつていよく~ッ大仁川の謎部接當川郡を詳細に勘覧したがこれ**

外體 や 發見 失踪以來十六日目

| テしたが形置は形と黄銅してある|| 鹿工競踊所で顔起郷集中|| るのを歴史、馬山製館は遊山へ急|| 蜀を横梁指導することとなり目下 の死閥は失踪後十六日を評価した。月廿九、卅の朝日間石族完全燃焼 十九日第山海宝器神を憑流してる一の課習費を明き次いで、間内各下 【馬山】長衛左船長向井東大郎氏|技師殿村繁三郎の南氏を招聘、七 海雲台沖合を漂流

野 | 安東原都から第山水上野へ押ぶ、 | 1 川忠西でも外二名の船頭をサー日 | 船長駅で | 1 七 | 川忠西でも | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1

■下間器運動部後主任の手で取調 すると欺に一般に置く継がするこ へられてある 東菜者で複雑した十名の活所朝鮮 べの一方更に同名では廿二日午後

といなつてゐたので、大明山岳部

り、人が低級機能に出続さることの情態にも総理を事務所を訪問より、十五日大学の電工部連所で用た、金牌組合理事は去る十八日、海州機、廿五日大学の電工部連所で用た。全牌組合理事は去る十八日、海州機上の電線ですつかり配添を観史、志あるを知った海州地江外面工器出版のの場合ですのかり配添を観史、志あるを知った海州地江外面工器出版という。 スをも紹介しようと答々閣談し作とも共力して蹇賦智異山登山コー 備を進めてゐたが、攝影班長の向

日午前十時まで三十八ミリ大の雨 | は陸り観くとの古書があり、窓底に駆動から基初底に陸り出し、サー | 月一日と夏季に前が降ればその月前から融つたりやんだりで、廿日 | 作飾もやつと群年した、たほ際五間が **労作體験に重さを置く** 麥の收納に一心配 慶北道當局の改善計畫 おび見、連捕取調べ中であつたが名がゲラン漁梁中を江内駐在伊皇 J月金架(16)同榮町米架(14)の.



松峴里市塲

なつた、庶紀に舞歌氏師も合せて里市場は七月一日明業することに 利のため建設中であった所管松説 【二二】北部を展を一般所民の便七月一日開業

臨時假校会明倫堂で授業してゐた 《**海**書 』 金浦都 農業質修學校は

東海岸方面にあたる機器・温川・

ルフ大會 雨を衝いて

出頭し重ねて陳何したところ難が登め、中村荷遣桐氏は極勝本組 狭する跳に行かぬので、本社へ

西年期 一帯では本年四月以来延純 れて水町・1 日風雨を衝いて健さ、 選売が離倒りの延縄を減血した結 フ大宮の成績は次の通利であたりから、果、百十級の延縄近航で 一日平均 遠く元山・京城・望山あたりから、平、百十級の近縄近航で 一日平均 遠く元山・京城・望山あたりから、十年に大建発とう製油可き取引 して近ばした 脂:緑の珠集三個州銭の長人を存 きが行はれてゐるが、三百尾で魚 り、十尾六銭程度で襲地向き取引

山川】本証受益者優待の名謝霊 際した 鯖や鰛を尻目に

仁川名畵鑑賞會 完全に觀衆を魅了 晝夜ともに超満員

七

京 宗 部 長 清 署 巡 視 の監視を観を戦みの監視を観を戦み

毎日千三百尾の大量水揚に

慶南東海岸萬歲

後三時四分『のざる』で配った、

實證膜を拥し、國民團結緊張し、獨題が確業に軍師に惡くべき充潔數中特に感じたことは再興の

慶北婦人講習所

漆谷郡に敷地選定

尚本府技師實情を調査

府當局は今秋十月を期し

府域擴張實施期待

クテナ化 旌

滴 W

で仮観六時から聞る七月二十日から

(沿線都邑の分布)沿線は何九郡にして畠威極めて響大な

むしろ降りすぎ 南部地方では古言を擔ぎ

長溪橋の竣工式

方法を講する筈

密航怪機船

釜山で取調べ が、遺補助、地元俗的などで三十一

では像て沿線の延滞状況と上な名。を興つることになつてをり、南版 【大邱】 邱爾線開成聯合資調重部 | 財政常はこの智異山陽影には便 **影峰** 知果, 山 邱南線期成會が ーフイルムで紹介

源面に入掛した場を手配により取 【釜山】 紙報、十九日夕慶北江

のて關係。関係への連動物料に供、行って膨脹する等十分な心痛は消動が頻等を三十五ミリの影論に納、では間気酸で良好を書声の回派を

東野が都含上行けなくなったのと 「島技能師三停県場の服金縣昇格部 【清州】 既報、鹽鐵忠北級清州、 位置變更陳情

聞意のため楽仁、権内をはじめ隣 質励するやら職可を無調してある

念日に左記記念事業を記録し校だ一になり満州、永聞、沃川各郡内

永縣面事務所

新築落成式

今井副會頭

課長 廿二日本社大任挨拶

慰留されて 辭表を撤回

校から職談する書

も助かつたが長な刊聞「こに絶命 は猛烈な中心にからり四名は至く 物をしたがこれを食した一家五名

生る十七日の朝食に豚…の吸ひ

[1] 割川郡大皇面事大弘方で

、現存で龍山中學技館木健太夢比を 廿五日報行する、なほ同日面長載に「清州)來る二十八日、美江芒园 この都雙工移動したが、落礎式は「美江普」校(例)完會 【園塘】新築中の永縣面事物所は 招帳し教育研究會を開催すること、傷霊氏功績表彰式も兼ねて行ふ言 **美江普校研究會**

【仁川】一身上の「船合で翻表を提

例主任 廿七日繁 ら廿二日蜀邱 支店長 東海中部 三日蜀邱

た仁川商融合非副曽凱は吉田

初興の獨逸は 大の日本最負

【永登浦】木部崎朝鮮ビール下場 | 米をはじめチェッコスロヴやア、 制質類として今後大いに活躍さ 宮頭の慰留により酵表を歌回し、 全大邱優勝

があっまってい

歐米の研究行脚から

本部崎さん歸朝

スポンヘン瓢竜就能所を中心に英一京、大阪などに立寄つて廿二日午一時から東 雲町グラウン トで大優ルス氏と師道昨年八月穆齡以来。| 研究展祭して五月廿五日瞻朝・東「軍の試合は小 耐酸さけ 日午後日本日本の (て軍) 大事主能金関都由對流的長はミエンヘン丁栗大寒教授リュ | ベルギー、オランダ・スイス等を | (て軍) 大事主能金関都由對抗野長はミエンヘン丁栗大寒教授リュ | ベルギー、オランダ・スイス等を | (て軍) | 大事主能金関都由對抗野 **球南鮮豫選**

村少佐に開金たゝかれてみると脈

になることになつた

・を歌い出したがら躍るのだつた 神艇の楽製員は加徳、黒島にそ ・ れ人・七十名で、土質が 斉也 ・ れ人・七十名で、土質が 斉也

金三鐵道の促進

更に三干浦邑でも

父通量は都數四十一萬三千時台段物移動狀況は正確を極め既に

總督に陳情書提出

類をなで10両の空に点赤な夕鏡と質子を加えた上陸、配著に當風の山田氏、野とと質子を加徳の上田板に持った。「成立の大器・副とは立つて海上を洗上帝風が快く」

『原山』三千神色では金三郷遊敷 中泗川、曹州で除情したが空に左 は勿鳴、三千浦の原地方面に動いて対する反路とその連線開係 中泗川、南海、統憲过海の水産 中泗川、南海、統憲过海の水産

を聴合つて異れないか。指摘官北ちだ鹿軍思想要及のため海軍生活

もつかず全員を指揮した

タガスが一番苦手だからなり

- 仁川間の顕軟、既は耐かに下された一覧く― (高)までたからな々 。 認真故障、夕職の中に罪やく軍艦

【一個】清州公立農業學校では來 る十一月一日の崩校二十五周年記

境たる『君が代』の喇叭吹奏雅に

清州農業校 記念事業計畫

勿識可令並子大佐以下士郎も床に「それん~総紀に整列、悪び患る引つの領りにガスの中に徐航を続け」響く場所に黒島、加徳の婆留兵は

明くれば嬉し慰勞の上陸

柄は小さいが亜電視は一

關係地方は何州、金泉の二郡、 || 四野地方へ見学のため出設|| | 二名は佐藤助敬禮引率二十日 | 一名は佐藤助敬禮引率二十日 日七台別個日本台別個

[清州] 芙蓉面芙蔔家は先股査定 富豪の稅金逃避行

長倉蔵を開催に来る二十七日午

現在の成典には過ぎる位の大建築

是建作八百二年語工費十五萬國、

要問題につき聞館する み中のホテル建設促進、その他重

城津國防義會

で今月末か來月早々には工事人札

【城津】國防義賈では、十二日午一つた

公會堂の設計成る

氏を推し、その他理事、監事、許

副僧長に富田三四郎氏、杉山西

一般で掲載に取りからることになり東、議総、粛洲國、協和職等の役

部質内各面婦女子の田値顕反原は、した

悪宣傳を釋明

た仁安協を策す

海州穀組との會見で諒解求む

桝地の暗雲解消か

汶山驛の業績

『た第二人道橋は刑として相當い。一定の計選をたてと行くべ

に臓敵脊部観察を目離とする腐脂、分、果川面が十一分三十移で入資。かへ繁更したが高腹裂の理論によて放棄し間が増かする腐敗の関節にある。

節務、創計の報告の後後既成

颯爽と聳ゆ、五十九尺の近代式建築

近く入札、來春完成の豫定

る威興の象徴

寄附により認立認識中の私立光線、干団、菱栗明氏干五石間、申撃級駆燃報長として邑内朝鮮人有志の「所震振並三萬國の内、全班宅氏三個新二道認識或金匹宅氏を眺立「襲技は目下級可申請中であるが、「襲方」道認識或金匹宅氏を眺立「襲技は目下級可申請中であるが、

| 製板入駅離の朝鮮人見電を収容す|| 引着さ宴を造つた|| 「現時間に複合を新築し、公立警道|| 地方設度に関する座談會を開催、現意館に地方有志十数名を招待。

るるが既行き出目されてゐる

國策キネマを撮影

咸州の田植

「墓山麓」甲山忠紫面長長で洞面と、「墓山麓」甲山忠紫面長長で洞面 べを受けてあるが事代の内容は多

の国籍の国際出版出面になる。

商館水煥(『こは去る九日午後八時

墓地を繞る

11 高國聯山公面協川里特

長、及び宮内支配人等は十七日夜社長・張宴 春州電氣 (温井里)中山

羅津の光成學校

寄附金一萬七千圓集り

早急に設立の準備

焼酎屋さん結束

咸鏡南北道の業者百餘名

いよく
「販賣組合を造り

三井の統制に對抗

一時から交通部館を二十次日午後【羅津】商工館では二十五日午後

軍國少年の意氣昂く

咸南中等學校と青訓の演習 防空演習をも擧行

組合の一手販賞とするもので二井 を各単に置き各種造所製品を販賣 の焼酎流動が勘次量化する機連に

改善の餘地ある

た、事業計畫は本店を成員に支店

(成興) 黄 在中

羅津銀座通

建設を促進 繁榮上重大視され

商工會が乗り出す

咸州郡の正

の後週那せず、年内竣工は至難と一するばかりなので、 【風異】威州郡では『多収的は正

は選立威奥路院及び異南朝一見られるに至つたので、來る廿六一大視され、近く促進巡聴が具體化 歌中であるが現在のところ九別五 を助に先に順川、安保、不成、江野・田の東を楽を派し連旦高下を通っ 果、成川、陽無の諸郡の初述題してある塩郡守、長野主任を初め解。たが二十日安上城に先にも天の如政の日やけた師には遊色が認って、く能った 優権からしをモットーに合手しそ は百ぱの正條極階及を期し今月初

熱球狹霧を衝い

全鮮庭球選手權北鮮豫選

狭窄脈を打つ際に無事第十三回のそをよく投興され、暗雲底れ涌め

加藤柴田組に榮冠

国の北部代表研解に東近の如く 年の優勝組茂山寰松野の質負を 南の金、精組も歯が立たオストレー 日北部経過官理局構内を1、一次ので、祖教の少いにも地らず の業が開かれ、総対から診験、か開電かに噴れてコートのコンテン の影道からの暴加を見、各地とも くて第一回、郵次語を経て進からの暴加を見、各地とも くて第一回、郵次語を経て他語検、中間電かに噴れてコートのコンテン の影道からの暴加を見、各地とも くて第一回、郵次語を経て後語検 コンが危まれ、各地の参加チーム 影響を関しての置り置いても地を くて第一回、郵次語を経て後語検 コンが危まれ、各地の参加チーム 影響を かったので、祖教の少いにも地らず の業が開かれ、総対から診験、か開金を経てが応じませた。

防こ移民映畵化 満洲の第一線實狀を織り込む

海州側営業者としても仁川側が続いるところがあつたが 別米の悪質幣を行つた云々のこと に願し大いに霧明をなし海州側 今後兩地當業者の態度は一般から本的に解決すべしとの意見が強く とはいはれないから、此際仁川側 で具體的安備家できぶし問題を根

風南の 傳染病

意能に出た以上問題を永く紛糾せ

衛生思想の普及を 裏書する率の増加

【咸塵】道衛生課で昭和五年の際 | 面は大打戦を上げ、間島省、新見質

れとを比較したところによれば昭 陳朝したが期き入れられず、一方柴梅能生及び死亡就说と昨年のそ 業部質局その似各型路に解釈方を 大十五人、昭和十年は誕生二千首 | 去る十二日には間監察務機期に入和五年の誕生總數は入百で死亡百 | 間點省では昨秋來質試を調査中で が増加したものでむしろ書ぶべ れが減くなつたとの選生死亡の 五人、昭和十年は誕生二千百 死亡四百十七人で翻住死亡共

山」茂山郡劉祚安圖縣を中心 解禁は至難

漫然と要求の計畫は禁物

を一切厳禁したこめ木林業者と夜 たの足部りになつてゐた鮮内三長 九月以來的十數名の大小木林樂書 に慰し伐木及び五口江による流及 る事のがあるので崩測圏では昨年 とする木材業者中度を開放に通す

二年度で實施してこれといった。 赤石もの本権国際のもの、適が手限とに、 が主題となるもの、適が手限とに、 なるもの本権国際のもので議会と のがこれらを選然と全部明十を をあがこれらを選然と全部明十を をあるがこれらを選然と全部明十を

はないやうに思はれる、殊に使して貰いたいもので今後この部に、特殊事情があり、この監一腰、なこもあり質に面白くない、一特殊事情があり、この監一機、なこもあり質に面白くない。一時の大事を推進してみるやう一次の第一様、なこをあるり質に面白くない。一時の一般では、本族の初一、衛神路となるとその都著にのみ音派は一大の音楽をイイした民間により、一般ので今後この部にしないやうに思はれる。

0

物代理店東京大阪王 置合名 盆 粒料金頭球状 市事部

りあに店品粧化店頭名有園全

あなたの要求が 毛髪の惱みなら どんなことでありませうとも

お試し願ひます

添瀬や殺歯のみを 登毛料 御希望なら 今までありふれた て或ひは

hi 合ひです

を興へて、毛の大切を築登と活力 その上 艘生伸長を旺にし に毛髪に

強くする御希望 毛髪を濃く美しく

然!

おなり下さい。 パミット驚に 研究の 劑です

キット皆様も 足です

ある方々の 病床・産褥に

使物の未完成を理由に家屋倫却展一郎により相當打撃を認つたことは

いて協定成立セデ、住民倒は豫定しめたくはないが、仁川側の思記

五口江の

流筏禁止

日本髮·洋髮

を結はれる方

洗髪代用に

題を開催にする語の思想に

の痒み止めに

称みを止め間安を長行ちれ、は手根能を配紙にし

させます。

が「ワカミツ」を沿用さ 既は不識になり易いお疑

の御携帯に 聞ぎ、楽災を保つす。 際の印やけ、 樹や けを

(可認物便郵借三束

其他療法の重大缺陷

が伴ふ故に、特に内服薬を過信妄從に陷り易い初慮染者に猛省を促す。を呈するのも根抵ある殺菌作用に非ず、是等の非用は常常的胃肠 壁跡を呈するのも根抵ある殺菌作用に非ず、是等の沈北に常野の胃肠壁跡に 痛を緩和し、幾分糜爛面に對し收飲の作用を營むのみにして、 痛を緩和し、養分塵爛面に對し收飲の作用を營むのみにして、 尿に着 色で樹油) ベルサム類、 ザロール、ヘルミトール等なるが何れも尿道の多少な低油) ベルサム類、 ザロール、ヘルミトール等なるが何れも尿道の多少なても眠的な事實である。在來用ひらる內服藥の主なるものはサンタル油(台でもほどなど) 病の全治が望み難いは、學理上に明瞭であり、齊しく慢性患者の體驗に見続的終點の條件にて、尿道に對し、熱鬱作用が影無の凡ゆる內脏藥に淋秽菌が終點の傳像にて、尿道に對し、熱鬱作用が影無の凡ゆる內脏藥に淋淋病の再發なき根治は、尿道の深部組織の病果(數壁、側道、間尿道)の 醫學博士 江 口勝 四郎

大な観路である。 且つ棒狀固形なるを以て尿道挿入後の排尿阻止は治療上** ば糜爛尿道に强烈刺戟を興へ、 療法も脈じて使用を慎むべきて、是等の農民衆液を使用すれ 解と同時に外部に流出し作用量僅微で到底殺菌は期待し難く に非らず、業液稀薄のものは後部器官(攝護腺、精系)を腎 内服業に對する過信を成むと共に、洗滌、普通一般の注入 前部淋菌を後方へ逆移せしむ致命の危險を有ち、固形揮 粉末固形にして既に性能学減するに加へ、大学は溶 患者の苦痛到底耐え得るもの 重

に歴めがと証

特に尿道全組織に到達せしむ

フラオンギンの

法を以て爲し、尿 道表 面の殺菌完全に加ふるに尿道の組織深部病果、皺壁、 本から覆へす全く新らしき現象を齊らせり。 局所療法の尿道殺菌の完全は決定的で、宿題たる浸機性の銀劑結集に新發明 干燥窗器 西 臫

慢性急性に對する具體的性能

制液、止膿各作用も賦興、ケンゴールに一丸と爲し急性、再發尿道の急速殺菌は含む、このます。 異的無缺葉と認めらる完 壁特徴 なりのみ まっちょう と共同的に醫治を迅速ならしむは、慢性尿道の殺菌根治と合せケンゴールが驚いませい。 檢鏡的に無菌狀態に死滅し、完全な再發なき根治を呈し、消炎、鎮痛、收飲、

羅烈正確殺菌と尿道内に於ける漫透急速なる本劑は、從つて微量○・五乃至

安全にして確實な使用法

異の深擴漫整性に據り攝進腺以下後部器官に在る淋蘭も殺菌するは事質上明白。後、後途性に全く乏しき普通一般のほこ変が有つ危險はそれもなく、やつて核液を性に全く乏しき普通一般のほこ変が有つ危險はそれもなく、やつて核心をした。 にして獨り本州の誇りとする價値なり。

です淋

前消失清澄尿に一變せる二百數十例を はなからははing

治療後絶對再發無きは、歴

速なるは、

以て明瞭、一

醫界に定説は局所療法

再發せる患者が本創治療を以て淋菌死滅して再發せる患者が表記を持ち、

上を以て明確とす。猶如上の外本朝治療の淋とす。正に本朝が治薬唯一刺たるの事質は以とす。正に失踪、治薬唯一刺たるの事質は以

菌根絶例は最大敷に有することを付言す。

世国難に轉移する遺憾に計し局所治療の徹底には害人驚闘の情しみなき努力の世国難に轉移する遺憾に計し局所治療の徹底には害人驚闘の情しみなき努力の が本劑を以て完璧を得、一層定説に拍車を加く、残るは新事質を逡巡する患者へが本劑を以て完璧を得、一層定説に拍車を加く、残るは新事質を逡巡する患者へ 各國醫界の事實不動の定説であり、今日、問題なる局所業の深擴漫遊性の結合場所議法に振らざる限り、慢性には固より急性、表示が、の場合と監督不可能は、場合は、表示が、の場合となる。 はない いまい はいい いきょうしゅう いきょうしゅう いきょうしゅう 問題なる局所楽の深擴凌達性の結合

根本的に悲劇を解消せよ

限、各種關節炎、生命を瀕する重繹熱等の危険には根本の解消とそ安心で、とせられよ。根治なき大端間に惹起する悲劇、不妊、一見性不妊、恐るべき醫療がられよ。根治なき大端間に惹起する悲劇、不妊、一見性不妊、恐るべき醫療がは近立とに及ばす利感染に外では直ちに本郷の使用で確實な再変なき根治を明常にない。 撰滅に着く質績を見つく在るが、患者は透徹の批判に基き信念を描がす、慢性既は一番く質量を使用、各部法決の根治者は受い、動力の表した。 またい では、 ないのに、一般ないでは、 ないのでは、 ないので

驚くべき淋菌殺滅の迅速

周

的殺菌作用を有するは實驗上確認す。臨床從の過程がある。 的殺菌作用を有するは實驗上確認す。

藥

八十瓦入(約五十七日量)拾 五十五人(約三十五日星)七 一十五瓦人(約十七日量)参圓八拾錢

──一號(急性用)、二號(慢性用)、三號 呈進代無献文

城 新井

日東製薬合名會社製品

代用薬に御注意を乞ふ

合名會社に 東京市芝區通新町十三番地

電配三田 | 大八五・一大八六 | 横骨 東京 三五〇一ル番

藥 房·木村藥房

(縮人用)あり、御註文には御朋記をだる。

發

拾

全國業店、百貨店に有り品切は総代理店へ 大黒南海堂・藤田顧房

表せる確証

正に治療界の革命とす

見ゆる内服薬に於て治淋的効果無く治療! 幾

過の慢性淋患者の本剤使用何れも三週間を て正確に淋漓を根絶せる百數十例に基き様は 及び殺菌作用は、十年経過の慢性淋患者た 京吉原遊廓吉原病院長佐藤荣氏の苦心研鑽 助剤たるのは明々白々たる事質であり、 群は初感染急性淋患者の本剤四日の治療を 見て完璧なる局所薬の出現を熟堂の折柄戦兵療法にのみ治淋は期待せられるが、實地的に たり、一、淋菌蛋白と結合せず破壊力強く 樂たるは實驗上明瞭なり、一 放つて、プラオンギン、ケンゴールを得たのは に治療界の革命たり。理論に併行せる實 者本期治療を以て始めて一子を得たる例 殺菌力。張、豪にして消炎作用の 淋糸沈降些だしき 五ヶ年 稀有の深達

初めて自宅に於て

来めんとしまめ得なかった最重想の局所緩縮来めんとしまめ得なる學説に基ぐは聞より迅速なる場別に基ぐは聞より迅速なるオンギンの漫遊性は思熱とす。前人未被のブラナンギンの漫遊性は思熱の自転にの効果また學誌を作けったは明白脚然とす。前人未被のブラナンギンの漫遊性は思熱とす。前人未被のブラナンギンの漫遊性は思熱の自転性の対象を作った。 成を得て一斉に臨床監整博す、多年治療界がまた。 一斉に臨床監整博す、多年治療界がまた、高ののは、大学ののは、大学ののは、大学ののは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、 野化學的に明確な根據を持つ治淋測は、到

淋菌全殺が可能 醫學博士 向井 叉吉

と程すべし。稀有の急逐性は從來の局所能の世界的局所要本制の完成をみ、患者の大福音 解消し是等の障害を治療する作用をすら極奥になった。 氏の貴重なる多年の治療經驗と學識によつて 歌勘とせる揖護膝其他に對する危険を明かに したる監唯驚嘆の外無し。

醫學博士 松山七五 郎

危険の杞憂毫も要無し

東二十年に無くとす経験を以て見て本部が従来の局所薬を根本から変へせるを育っつ言れ来の局所薬を根本から変へせるを育っつ言れ来の局所薬を根本から変へせるを育っつ言れる。 大瀬の池町元のは東西、本瀬の池町元のは東西、大瀬の池町元の山地町たるの経歴は、北京の山地町である。

を重ねた前科大犯のスリの大物が「手下があり今年一月銭から一味六「瞬で連絡をとり金一人のスリ代教類終測測の國際別項を根域に選事」前科大犯金完整でごといい五名の「邸、水育浦、平瀬といつた郷设へ」

谷山和革命長は敵日朝『のぞみ』「神士然として二等軍に乗り込みス」国に達してゐる、他の五名の姓名 兄城本町製にあげられた、本町警人が一名第二班に関れて、何れも一だけでも五十歳仲老の被害二萬所

盛んな歓迎を受け

Ħ

胞號清津

各地有力者たちに迎へられ

【経南電話】本社登提供施行士の一級の後期屋服舘に入った

本社のメツセーチを贈る

る朝鮮問胞既は既報の如う

過程のは、午後一時成典を引送し

四十五分解解に機能を残し上字を 四時山五分明川の上空を通過・河 たが更に午後三時威夷を出蔵午後

一間、質像ピラを敵布の後機首を

本府中央試験所で完成す

・鬼調べてあるがこの男にスリ「嫌とすれば直に認見されるので火」配した。足職におりた神土風の男を飯「りを働いてゐたもので、京城を本「も報明したので搭総各種に指名手

尿城の水道 心配なし

ならぬとまでい配されてのた火丸。 「実践・等々・また」 美男・選に二十二日午前四時年豊美雅で「幽帯館、女工・裏郷の歌の歌の歌師が「然次宮の心郷かあり、「部湖水公」あつて姉人都田田とはチホームは「どの心能に用であつたが、廿日来 二十名の よってことでいぎ、この低ではけ、解映解に動人層で所、展元、る等解映事業の設備は行き配いては合いに領水方を要望しなければ、家庭観察の『女中』義成所、展元、人一番解映事業の設備は行き配いてより、「新年の制業を絞り、この低ではけ、解映解に動人層で所、展元ポーム | 所には八十名の内鮮見強をあづか近年の制業を絞り、この低ではけ、解映解に動人層で所、展元ポーム | 所には八十名の内鮮見強をあづか 近年の記録を破り、この低でゆけ 炎大いきで京城上水道の近水量は **顧雨に見舞はれて廿日の郷水量は** 次成式を舉 行する。同

後拨會決算委員會

オリンピック朝鮮

で大脳前水の心臓は解消した 日は三萬七十二百五十二五五六十一

平護・新義州及び蔚山の各航空前 髪國婦人食物卵本部では京城帰蘇一所は二十名収容十日間の調智で 数は一貫五千二百九十七通である。 歴史徳局で取扱った五月中の認む を見せてゐる航空戦便は、京城、駐近利用者の霎時らしい境即振り 傲増する 加してある、なほ五月中の旅客は 三百十四人である 加してゐる。なほ五月中の旅客は「を投出してざあ!白個札だからおに比較すると五十七百世四通を増「だ援が、ロシアルーブル釈啓一枚 毎日教材を 優いるので

隣保事業 婦人と家庭方面へ働きかく 東大門署の孫龍人り

は廿二日午後五時城女子龍球第一春

|五通である、前年五月中の経着数||手に三面六十銭のマラカリを飲ん|| ダを飲み自殺を討り、戸上病院で 八通、朝鮮内経者百七十四通、南一町建成接飲食店へ廿二日夜反爆安」後十時頃京城三坂通五十八番地県「城路『のニネ』で東京市中野県大 |製町干費男(ごがあれ・南牟を祖 |奉川(ま)は天命戦略の料部性ソー 「一ブル紙幣」最重要 京城女子籠球 気の弱い男 廿三日午 | 令號らに渡られ廿三日午後三時官

加空郵便は

がこの中で内地宛は一萬三千三百

川町九の同氏戦に向った

がなる

道内科 電本二三三三

醉拂ひ武勇傳 鍾路の珍劇

審判鹽橋、緊急兩氏 てあるので已むなく未追し隊の繋ー高女3(8——7)1女高響(ると、えらいガン製まはして墨れーの「おり」(よう)を表達して墨れーの「あり」という。 高書コートで開始、接職の提第一高書コートで開始、接職の提第一 めてゐる男を顕路客庭がやつてくに服そべつて萬心を片つ端から止 |城鎮路三丁目の電点軌道に大の平 根半萬(こ)で繁治三十六程)この大力男は京城県米倉町 影解が出陣、壁くつかんで豚箱 てゐるので已むなく柔道、閔の

牙城敗る

ありませんか?便秘のためでは

W

ト剤は ###stores

ラギダドール

錠

めなもの。辛

頭痛のは

10

割タイガース

が、これから一般化に可能な機能的に成果だけを収めてゐます でゐます。

のは出の研究に取りかくる務り 成長尾半平氏の遺伝は天人、令息 故長尾氏遺骨

中學生の喫茶店入り 警察で取締る

が明始十二||国二でタイガース勝

(班)中村、平井(縣) 三氏審

野塚試合は廿二日午後五

人家庭に向けられる部であり託兄

屋時入所し壽習を終へた品は内地

方面から強へてあるまり配心出来。下与京家直蓋が高長はこの靴を考。 く具體報な業を作成、實行に終す機の短から謝しても没目前の議台。のではないかとあみられるので、「取締りたいと洩らしてゐたが、近 最近景域府内の中華党技生徒は職一ては體育方面にまで支職をきたす一屆の出入りも繁宗の方で積極的 具體案作成を急ぐ

> で一安打を許し で一安日を午してして相當の好酬をボー

話である

聖物質局に勿論、一般世人も一風し、

かもしない、中等型校生徒の喫茶| 壁く細器たるカフエーや食量 生徒達が殖えて来た、尤も女給を 調査してあるが、近極 筬出する 興茶店に出入りす

原出人は脱枝當局で燃じてゐるが この闘途や夜間など自由に出入り

サラクの な馬子。 荻尾技手 **荻尾着は水い間根気偏く研究し**

すばらしいもので、白を糸ともとう成功しました。成績は實にてゐましたが、ついこの間だす が出来ました。今は小規模で第一してよくないことをおぼえ、ひいつとも纏らないものにすること。この職員者を借去と自由に出りま

立場 から中等要生は要素 吾子の過失に 家總出の親切

| 緊緊署の取締りがないため學校か | 能せしめ手當してゐるが、その後 | 難讃してゐる前商業態校でも曖昧 ぶもしない。中華学校生徒の壁発』を直傷せしめた裕事は直ちに改善、の別く消れ並治者のほを疑めてる覚疑の出入は繁宗宮局を何等の社「総雷中龍が脚を纏えて通行中の女「鬼の眷出さんは開父の素処を修け、正成緒り駆然処正してゐるが、壁」等出二鬼君』段名『が授姫で槍投「身も及ば四程波につとめ、また父臣人は観歌御鮨の學生を徒に奪録」既常「十八日京城國業校校四年生「舞ひ、桜にから」切の面更を見集 庭では三男君を融償せしめると共、ベッドで春田家の魅明を懸糾しての結過良好である、貨幣田君の家 に見舞品を贈り、被害が願さんも 者陳富猷さん。一とを用民病院に入る美族に附近の人々けその親切を 八日京城商業寮校四年生(舞ひ、欅をから一切の面倒を見想

にお母さんが傾日の如く病院に見 ゐる 大人氣の相撲 けふ千秋総

米京大相撲第四日目(廿三日)は

等壁技生徒の麒士等つめかけて大 して方々の商版や初、中

たほ本社お好みの笠篋山、

二 不 らかた

せぬ同情も溢れ出ようといふもの

かし、それだけに日本人によつ 理な遠來の外人觀測部隊には盡る 歌は日本観測隊にあがつた、不

今度の成果を世界に避衰し得る

調りの際には大きな役割と責任が

當つて意外な副産物が生れた

偶然では

おのたが、今回

同時に、加も世界の三金 それは一分間の黒衣の太陽

の菜譽を整つた所とその人といふ

別る、即り新屋はイブシロンの

イプシロン

星の所在

一度の位置に敗肢に見られるか

イボウ提琴大演奏會

を見された事だ、この**主席意見**

期陣を敷いた北海道では、闘らず

| 唯にある地野で目下の光度は三等|

もんのエピローグを告げた、 一瞬の暗霊がサッと流れて悲語 構造出された際といしかも貴重

後次第に戦やかに観光するものを

の星が突然輝き始め敷目間に敷干

受付にて領求めを額ひます!! 整層指定券に成可く早く本他婦一覧表は本社で差上げます!! 整層指定券に成可く早く本社店に開助中央を指する。

極めて微かな光

日食中に世界三ケ所で發見

| 歴といけれるから疾歴で経過に見 | 六月の天空でけ北東部に半ば銀河 | ある壁があり、われくしの底には

がある。ケフェウス整といつは、一二・六等といふ強い光りを放つて

一つの位置を大勝さくつてみよう。一た有名なカシオペア軍隊と進度の一階の十二位呼いてある星である。

だが、これはケフエウス座が分り

會場・府民館大ホー

六月廿九日(月)夜八時

次にイブションといる星の位置

フシロンは萬人熟知の北極尾と

THIBAUD

世界を感激に導く巨匠

ア暦中の光度二部屋でありへ型

らなるわけである。そこで、先づ一にかかつて見える風靡でへかをし

東大の理學部生ら

|ゼーチを手突、眩ਆの脳につき眩||の色が黄色である路質用の途が数||今度点地中央試験所続尾を維行手||主役村松投師は謎る||戯北知事及清雅色漫に死でたメタ||り質も巡によいが、困つたとに之一省が伴つて何介しておた。それかってさをう。 中央主義

り質も源によいが、肺づたとにそ「鬱が悟つて爬常してあた、それが「すであらう、中央試験形の集業部で作もし続く、比資調発は自興発よ」はじめイタリーその他各国の科学「建筑業績に大センセーションを退」「破された――黄鸝は自邇寶より側」は生治外の久嗣郷で生治國の日本「がて観察に鑑婆と簡単に全世界の「成された――黄鸝は自邇寶より側」は生治外の久嗣郷で生治國の日本「がて観察に鑑婆と簡単に全世界の「 わが隣の生義界に大きな趣見が完一いのが観點で、その自色化の研究一に依つて完成されたのである、や

行士は接続の後、時質本批長から、於もしがく、形質調系は白麗糸よの出迎へあり、機から降りた誠雅。成された――逍遠は白麗麗1り個

喜歌、三上北部日本社長其他多数 務部長、豊都興富、師園から中村 場に無事者陸した、道からは李内

ラを旅き引返して周五時職北線兵 北東に向け清津に至り同様宣傳と

त्राः नात्रकृतिम् विक्रात्त्रकृतिम् विक्रात्त्रकृतिम् विक्रम् विक्रम् विक्रम् विक्रम् विक्रम् विक्रम् विक्रम् व

の北で銀河にかいつた戯である。 **栄るから肉眼で見るに都合よくな**

曾具券前賣所

ウ提琴演奏會

于近に新歴の位置を言くば北極思に提供して臭れるだらう―――同ほ

俄然、新星を發見す

けふの天氣







平署電氣株式會社 氣鎔接學校 家庭用 五賞目入贈 定曹六四 SA PA











(星疊型)

リック海水着

母のユニホーム







+

















大猫 洪峰一段 (東京) (東r) (東

特別拿

光明。第一步! 高速度利殖機關 日本理財經費 阿里里四分〇區也 第二十圓縣每月 1000年 1 日本理財協會

梅雨季は た お腹を壊し場 称ちゃんのお乳には 內鮮運輸門出帆

WWWWWWWWWWW

美髪劑が作用いて 味へる明るい氣分です 花玉シャンプーを使って

お髪の色艶って

はじめて

い御洗髪/

日の田を葬む

ノをのむ それで一日爽快

一らな髪本 会回ニらな方女少・髪洋 **鏡 五・個** 一

阪大・會商潮長社會式株鹼石王花・京東

レッテル二枚で大景品附特賣中

施罗港、#

嶋谷汽船株式會赴

陽榮養飲料レッキスを 召上れ!榮養を旺んに で一元氣を養ふ美味整 を必に保健の糧に是非

ローを傳ふ夏の魅力 レッキスの美味!ス

ししょる

かく體に變調を來

行(急行)每日

モニカ

船出帆

日、大月十九日

日、大月十一日 | 石之通りニ網とに同様を組てした 伏見丸 六月廿三日 六月廿四日 一正生丸 六月二十日 アヤーリー

高杉商店回漕车 出回新华上沿出一人出交通

格の競者の源泉系ルギーの根源